



コミュニティ・スクールを基盤とした小中連携教育の取組

向東の対話～対話で学ぼう！～

む：向かい合って話そう

か：考えをもとう（自分の）

い：意見を広げ深めよう（新たな考えを生み出す）

ひ：批判しないで、受け入れよう

が：外部の意見を参考にしよう

し：正直に本音で話そう

た：多面的・多角的に考えよう（様々な面や様々な角度から）

い：意見に対して問い返そう（どうして？本当にそうかな？）

わ：私（自分）の意見や生き方を改めて見つめてみよう



1月26日(木)の午前に小学校の授業公開、午後に中学校の教育研究会を行いました。中学校は広島県道徳教育推進拠点地域事業推進校であり、小学校は連携校として昨年度から取組んでおり、当日は両校とも道徳の授業を公開しました。児童や生徒が「対話」を通して、学びを深める姿に多くの参加者から高い評価をいただきました。今後も、左の表をもとに小学校も中学校も「対話的な学び」をキーワードに授業を進めていきます。



第4回向東地域学校運営協議会

2月17日(金)に、第4回向東地域学校運営協議会を開催しました。「学校評価の最終評価に向けて」等に各委員の皆様から貴重なご意見をいただくことができました。

【各委員の皆様からのご意見等】

- ・授業参観や研究公開に行き、向東中学校・小学校が授業パターンをつくり、子ども達が素直に発表している姿を見て、道徳を中心とした対話形式の授業を確立したと思う。
- ・中学生は、自分の意見を言ったり、発表したりすることはあまり無いと考えていたが、授業を見るとグループの中で発言しない生徒がいない状況に感動した。先生たちの努力があったと思う。子ども達に目に見える形で対話の方法を示しているのが、子ども達にとっても良いと思う。小学校も低学年なりに自分たちの意見で対話していた。
- ・小学校も中学校も学力が向上している。地道な指導が学力向上に繋がっているのではないかな。
- ・落ち着いた環境で素の自分を出せる場が大切である。その中で、自分の思いを出して理解し合える。それが学力調査にも出てきている。また、先生たちの指導が子ども達の変化を見取って具体的に言葉で誉めているのではないかなと思う。子ども達も認められたと感じられている。是非、継続して行ってほしい。
- ・昨年度あたりから、子ども達が意見を交流し、発言しやすい雰囲気が出てきている。
- ・学校全体ではなく、学年ごとに伸びを細かく見ていくと各学年の特色も把握していけるのではないかな。



地域・保護者の皆様 アンケートの回答にご協力ありがとうございました。

「コミュニティ・スクール充実のためのアンケート」から学校・家庭・地域の役割について考えを知ることができました。コミュニティ・スクールをより発展させていくためにも、3者が役割を分かった上で協力体制を考えることが必要であることがわかりました。